

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程）

事業者名：三重県三重郡老人福祉施設組合みずほ寮

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画			
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数		実施内容	
1	職務の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
	(1) 多様なサービスの理解	2	2	/	(1) ・介護保険による居宅サービス ・介護保険による施設サービス ・介護保険外のサービス 講義とDVD教材を活用
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4	4	/	(2) ・介護サービスを提供する現場の実際 ・介護サービスの提供に至るまでの流れ 講義と演習を一体的に実施
2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1) 人権と尊厳を支える介護	6	6	/	(1) ・人権と尊厳の保持・ICF・QOL ・ノーマライゼーション・虐待防止、身体拘束禁止 ・個人の人権を守る制度の概要 講義と演習を一体的に実施
	(2) 自立に向けた介護	3	3	/	(2) ・自立支援 ・介護予防 講義と演習を一体的に実施
3	介護の基本 6時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1.5	1.5	/	(1) ・介護環境の特徴 ・介護の専門性 ・介護にかかわる職種 講義と演習を一体的に実施
	(2) 介護職の職業倫理	1.5	1.5	/	(2) ・専門職の倫理の意義 ・介護福祉士の倫理 講義と演習を一体的に実施
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	1.5	/	(3) ・介護における安全の確保 ・事故予防、安全対策 ・感染対策 講義と演習を一体的に実施
	(4) 介護職の安全	1.5	1.5	/	(4) ・介護職の心身の健康管理 ・感染予防 講義と演習を一体的に実施

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	時間数	うち通 学	うち通 信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度	(1) 介護保険制度	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度創設の背景および目的、動向 介護保険制度のしくみの基礎的理解 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割 講義と演習を一体的に実施
(2) 障害者自立支援制度及びその他の制度	(2) 障害者自立支援制度及びその他の制度	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 障害者福祉制度の概念 障害者自立支援制度のしくみの基礎的理解 講義と演習を一体的に実施
(3) 医療との連携とリハビリテーション	(3) 医療との連携とリハビリテーション	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 医行為と介護 訪問看護 施設における看護と介護の役割、連携 リハビリテーションの理念 講義と演習を一体的に実施
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術	時間数	うち通 学	うち通 信	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション	(1) 介護におけるコミュニケーション	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの意義、目的、役割 コミュニケーションの技法 利用者、家族とのコミュニケーションの実際 利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 記録における情報の共有化 報告、連絡、相談 コミュニケーションを促す環境
6 老化の理解 6時間	6 老化の理解	時間数	うち通 学	うち通 信	6 老化の理解
(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響 講義と演習を一体的に実施
(2) 高齢者と健康	(2) 高齢者と健康	3	3	/	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の疾病と日常生活上の留意点 高齢者に多い病気と日常生活上の留意点 講義と演習を一体的に実施
7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解	時間数	うち通 学	うち通 信	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く環境	(1) 認知症を取り巻く環境	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 認知症ケアの理念 認知症ケアの視点 講義と演習を一体的に実施
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の概念・認知症の原因疾患とその病態 原因疾患別ケアのポイント・健康管理 講義と演習を一体的に実施
(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人の生活障害、心理、行動の特徴 認知症の人への対応 講義と演習を一体的に実施
(4) 家族への支援	(4) 家族への支援	1.5	1.5	/	<ul style="list-style-type: none"> 家族へのレスパイトケア 家族へのエンパワメント 講義と演習を一体的に実施

8 障害の理解		3時間	時間数	うち通学	うち通信	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解			1	1	/	・障害の概念とICF (1) 障害者福祉の基本理念 講義と演習を一体的に実施
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識			1	1	/	・身体障害 (2) 知的障害 ・精神障害 講義と演習を一体的に実施
(3) 家族の心理、かかわり支援の理解			1	1	/	・家族の理解と障害の受容支援 (3) 介護負担の軽減 講義と演習を一体的に実施
9 ころとからだのしくみと生活支援技術		75時間				9 ころとからだのしくみと生活支援技術
ア 基本知識の学習		10~13時間	時間数	うち通学	うち通信	ア 基本知識の学習
(1) 介護の基本的な考え方			2	2	/	・理論に基づく介護 (1) 法的根拠に基づく介護 講義と演習を一体的に実施
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解			4	4	/	・学習と記憶に関する基礎知識・感情と意欲に関する基礎知識 (2) 自己概念と生きがい ・老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因 講義と演習を一体的に実施
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎知識			6	6	/	・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識 (3) 骨、関節、筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 ・中枢神経と体性神経に関する基礎知識 ・自律神経と内部器官に関する基礎知識 講義と演習を一体的に実施
イ 生活支援技術の講義・演習		50~55時間	時間数	うち通学	うち通信	イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 生活と家事			6	6	/	・生活と家事の理解 (4) 家事援助に関する基礎的知識と生活支援 講義と演習を一体的に実施 ベットメイキング等実技演習
(5) 快適な居住環境整備と介護			3	3	/	・快適な居住環境に関する基礎知識 (5) 高齢者、障害者特有の居住環境整備と福祉用具の活用 講義と演習を一体的に実施
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			6	6	/	・整容に関する基礎知識 (6) 整容の支援技術 講義と演習を一体的に実施 衣服の着脱等実技演習
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護			12	12	/	・移動、移乗に関する基礎知識 (7) 移動、移乗に関する福祉用具とその活用方法 ・利用者、介助者にとって負担の少ない移動、移乗の支援 ・移動、移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 ・移動と社会参加の留意点と支援 講義と演習を一体的に実施 体位変換、車椅子の移動・移乗、歩行介助等実技演習

(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識 ・食事環境の整備と食事に関する用具の活用方法 ・楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 ・食事と社会参加の留意点と支援 講義と演習を一体的に実施 食事介助等実技演習
(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(9) 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔保持に関連する基礎知識 ・入浴、清潔保持に関連する用具の活用方法 ・楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 講義と演習を一体的に実施 入浴介助、足浴介助、洗髪介助、清拭等実技演習
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6		<ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 ・爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 講義と演習を一体的に実施 排泄介助、陰部洗浄等実技演習
(11) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	(11) 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 ・快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 講義と演習を一体的に実施
(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識 ・生から死への過程 ・「死」に向き合うところの理解 ・苦痛の少ない死への支援 講義と演習を一体的に実施
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	ウ 生活支援技術演習	時間数	うち通学	うち通信	ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解	(13) 介護過程の基礎的理解	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的、意義、展開 ・介護過程とチームアプローチ 講義と演習を一体的に実施
(14) 総合生活支援技術演習	(14) 総合生活支援技術演習	12	12		<ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うにあたって ・「食べたくない」と訴える施設入所者の援助 ・できるだけ外に出かけたいと思っている利用者の援助 ・トイレでの排泄にこだわりをもつ利用者の援助 講義と演習を一体的に実施
10 振り返り 4時間	10 振り返り	時間数	うち通学	うち通信	10 振り返り
(1) 振り返り	(1) 振り返り	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じ学んだこと、今後学ぶべきこと ・介護の要点を理解しているか（根拠も含めて） 講義部分と演習部分を一体的に振り返る。 講義と演習を一体的に実施
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきこと ・継続的な研修を具体的にイメージできるように事業所等での実例を紹介する。 講義部分と演習部分を一体的に実施する。 講義と演習を一体的に実施
追加カリキュラム					
計 (130時間)	計 (130時間)				

第1－2号様式

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。